

RX-40V

2.4GHz FHSS-1 4-Channel Micro Receiver

取扱説明書

このたびは、SANWA RX-40V(インドア専用)をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために取扱いに関する手順・注意事項について説明しています。
本製品の性能を十分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。なお、本書は、お読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。



注意 安全に使用していただくための注意事項

- 本製品RX-40Vはインドア専用です。外でのご使用及び100mを超えてのご使用はおやめください。
- 本製品RX-40VはSD-10G、RDS8000、Stylus、SD-5G、SD-6G 2.4GHz専用です。その他のプロポには使用できません。
- 2.4GHz帯はラジオコントロール専用の周波数ではありません。この周波数はSM(産業、科学、医療)バンドと共用されているので、都市部では電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の発射を停止し干渉回避対策をおこなってください。
- 飛行させる場所では2.4GHzシステムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。また、施設管理者等の指示に従ってください。
- 障害物などの後ろを飛行させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視出来る範囲で飛行してください。
- 日本国内では、技術基準適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術基準適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。技術基準適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等、技術基準適合証明ラベルが貼られていない送信機やモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財)日本ラジコン電波安全協会では、ラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称が入った技術基準適合証明ラベルが貼られているプロポやモジュールの使用を推奨します。



※技術基準適合証明ラベル例



注意 安全に使用する際の注意事項

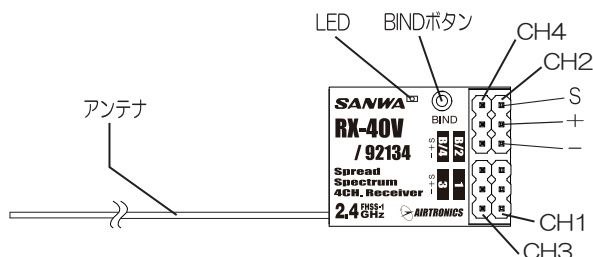
- ほかの機器によって2.4GHz帯域を使用されている場合や、同域のノイズが周囲に発生している場合があります。必ず飛行前にはベンチテストをおこなって、正常にサーボが動作していることを確認してください。
- 使用中は送信機のアンテナを握ったりしないでください。電波の出力が弱くなり飛行できる範囲が狭くなるので危険です。
- 送信機のアンテナは特性上、金属製のクリップなどをアンテナに取り付けしないでください。
- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。厚手のスポンジ等を使用し、防振対策をおこなってください。
- 受信機のアンテナ線は構造上デリケートにできていますので、決して乱暴に扱わないでください。特に強く引っ張ったり、ケースに押し込んだりしないでください。
- 受信機のアンテナ線を切ったり、延長して使用しないでください。
- 電動機に受信機を搭載する場合は、アンテナ線を出るだけモーター、バッテリー、FETスピードコントローラーから離してください。
- 受信機を搭載する場合は、アンテナ線がカーボンや金属部品などの導電性のものに接触しないようにしてください。
- コネクターが緩くなっていると、飛行中に操縦不能になる可能性がありますので、フライト毎に受信機、サーボ、スイッチハーネス等のコネクターが充分固定されていることを確認してください。
- プロポの電源スイッチをONにする時は必ず①送信機→②受信機の順番でおこなってください。また、OFFにする時は①受信機→②送信機の順番でおこなってください。※スイッチ操作を誤って逆にすると突然モーターが高回転になり、大変危険です。

2.4GHz 各部の名称

テクニカルデータ

CH数……………4ch
使用電源……………4.8~6.0V

寸法……………24.0×18.4×5.9mm
重量……………2.9g
電波到達距離(インドア)……………約100m



CH4	ラダー
CH3	スロットル
CH2	エルロン
CH1	エレベーター

2.4GHz ■■■ BIND (バインド) の設定方法

※BIND(バインド):SD-10G、RDS8000、Stylus用TM-1230モジュール、SD-5G、SD-6Gはそれぞれ固有のID(固有識別)番号をもって、そのID番号を受信機に記憶させること(BIND/バインド)です。

BIND設定した送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。(1台の送信機に複数の受信機のBINDは可能です)

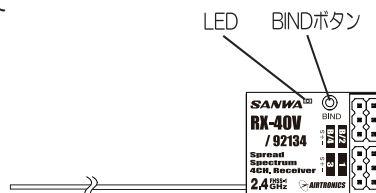
※SD-10Gに使用される場合はBINDをおこなう前に送信機のMODULATION設定を必ずFH1に変更してからBINDをおこなってください。(FH1ではSAFETY LINKの設定はおこなえないのでご注意ください)

※使用する送信機(SD-10G、RDS8000、Stylus、SD-5G、SD-6G)の取扱説明書に従ってBIND設定をおこなってください。

※スロットルスティックが最スローの位置に有ることを確認してください。

電動機の場合はモーターを接続しないでください。

- 受信機のBINDボタンを押しながら受信機の電源スイッチをONにします。
- 受信機のLEDがゆっくりとした点滅になるのを確認したら、BINDボタンを離します。
- 受信機のLEDがゆっくりとした点滅の間に送信機のBIND操作をおこなってください。
- BIND作業が終了すると受信機のLEDが点灯します。これでBIND完了です。



2.4GHz ■■■ 受信機の搭載方法

- ①機体取り付けの際、アンテナ線の受信部分を決して導電性の部分に触れないようにしてください。
- ②導電性の材質の機体に搭載し、アンテナ受信部が囲まれた状態になる場合は必ずアンテナ受信部を機体から外に出して取り付けてください。囲まれた状態になると信号が妨げられ受信できなくなります。
- ③受信機本体やアンテナはESC(Electronic Speed Controller)、モーターから極力離して搭載してください。ESC、モーターはノイズ発生源ですので受信に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- ④アンテナ受信部の取り付け位置によっては、飛行距離が短いなど十分に性能を発揮できない場合があります。その場合は上記注意事項の条件を満たしたうえで、アンテナ受信部の取り付け位置を変えてみてください。この場合も、飛行前に機体およびサーボの動作確認を十分におこなってください。
- ⑤アンテナ線はリンケージロッドなどと平行になるように配置しないでください。
※影響により受信できなくなる可能性があります。

2.4GHz ■■■ フェールセーフの設定方法

●フェールセーフとは、受信機が電波を受信できないような状況になった場合に、スロットルサーボやFETスピードコントローラーをあらかじめ設定しておいた値にする機能です。スロットルポジションをLow側にするなど、飛行中に操作が不能になった時に安全だと考えられる値にします。

BINDの設定が完了したあと、フェールセーフの設定をおこなってください。

- ①送信機の電源スイッチをONにします。
※警告音がする場合は、スロットルスティックを最スローの状態ですべて電源をONにします。
- ②受信機の電源スイッチをONにして、受信機のLEDが点灯していることを確認してください。
- ③送信機を操作して、サーボが動作することを確認してください。
※サーボが動作しないようであれば、BIND設定をやり直してください。
- ④フェールセーフを動かしたい位置に送信機のスティックを操作して、そのままの値を保持しながら受信機のBINDボタンを押し続けます。
受信機のLEDがゆっくりとした点滅、次に高速点滅し、最後に点灯してフェールセーフの設定は完了です。
BINDボタン、送信機のスティックを離してください。
※受信機のLEDが点灯するまでBINDボタンを押し続けてください。
- ⑤送信機の電源スイッチをOFFにしてフェールセーフが適切に動作するか確認してください。動作確認ができれば送信機の電源スイッチをONにしてサーボが操作できることを確認してください。

⚠ 注意

- 安全のため、フェールセーフの設定を必ずおこなってください。
- フェールセーフの設定をおこなったあとでBIND設定をおこなうと、フェールセーフの設定がクリアされますので、再度フェールセーフ設定をおこなってください。
- 受信機の電圧が低下した場合にはフェールセーフ機能は動作しません。

2.4GHz ■■■ 修理について

調子が悪いときはまずチェックを!

修理に出される場合は、故障状況を詳しくご記入の上サービスへ修理依頼してください。

また、ご質問、お問い合わせがありましたらサンワサービスにて受付けております。

電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝祭日を除くAM9:30~12:00、PM1:00~5:00です。

修理依頼カード

このカードに故障状況を詳しくご記入のうえ、必ず製品と一緒に送ってください。

フリガナ
お名前

電話 ()

〒

ご住所
故障状況



SANWA

三和電子機器株式会社

本社/東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 TEL072 (964) 2531

東京営業所/東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル)

TEL111-0053 TEL03 (3862) 8858

本社サービス/東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 TEL072 (962) 2180